

「パーパス～地域における存在意義～」の制定について

飯能信用金庫(本店：飯能市栄町 理事長：松下寿夫)は、これまで地域経済の発展のため、活動してきました。この度、当金庫は多様化する課題を解決し、更なる地域社会の持続的発展に貢献すべくパーパスを制定しました。

地域の皆様とともに創っていく未来が、その人、その人の個性で色彩あふれる鮮やかな笑顔にするために、今まで以上に「つながり」を大切にし、変化を恐れずに新たなこと、困難なことに挑み続けるという想いを込め『つながり続ける、挑み続ける、未来を彩る笑顔のために。』を飯能信用金庫のパーパスとして定めました。

- 1. パーパス
つながり続ける、挑み続ける、未来を彩る笑顔のために。
- 2. パーパス制定の目的

地域社会における 当金庫の役割の明示化	地域社会の一員としてステークホルダーの皆様と協働・協力して持続的発展に貢献するため、パーパスの実現を通じて当金庫の果たすべき役割を明示化する
当金庫の貢献領域の 見つめ直し	地域における当金庫の貢献領域を信用金庫の原点に立ち返って見つめ直すことで、地域の皆様に必要とされ、貢献できる組織に変革していく
職員の意思決定の指針	パーパス制定により、当金庫の目的や使命を明確にし、地域のために何をすべきか職員が意思決定や行動を行う際の指針とする

- 3. パーパス制定までの経緯
パーパスの制定にあたり、全役職員からの公募により若手・中堅職員を中心としたプロジェクトチームを発足し、約4か月間に渡り対話を重ねました。プロジェクトチームのメンバーから全役職員に対して2回のアンケートを実施することで意見を集め、全15回の検討を重ねて、当金庫の地域における存在意義を改めて見つめなおし、パーパスを制定しました。
今後は庫内向けワークショップ等の実施や地域の皆様向けの取組みを通じてパーパス実現のための施策を行って参ります。



つながり続ける、
挑み続ける、
未来を彩る
笑顔のために。

パーパスに込めた想い

自然と笑顔があふれる姿は夢や希望を実現した結果であると同時に、笑顔それ自体も人びとを幸せにする力があります。地域の皆さまや職員、その家族の笑顔のためにつながり続けることで、「笑顔の輪」が生まれます。

人や地域が「笑顔の輪」でつながることで、支え合って成長できる関係が形成され、想像もしなかった新たな価値や魅力が花開きます。

私たち飯能信用金庫は彩の国に本店を置く信用金庫として相互扶助の理念の下、身近で親しみやすい「つながり」を大切に活動してきました。これからも「笑顔の輪」の「つながり」をより広く、より強くしていくことが私たちの使命だと考えます。地域の皆さまとともに創っていく未来がその人、その人の個性で色彩あふれる鮮やかな笑顔にするために、今まで以上に「つながり」を大切に、変化を恐れず新たなこと、困難なことに挑み続けます。

地域の皆さまと歩むストーリー

未来の笑顔のために主体的に「挑む」ことで自分自身も成長し、その挑戦の「つながり」が地域の持続的な発展を実現します。地域の中で活動してきた私たちだからこそ、一人ひとりの「挑戦」に寄り添う役割として、地域の「人びと・企業・モノ・情報」や未来に向けて「資産・事業」をつないでいきます。ひたむきに考え行動することで「飯能信用金庫だから信頼して相談できる。」そんな存在を目指して、私たちはこれからも挑み続けていきます。変化が激しい時代のなかで、人や地域と「つながり続ける」ことは簡単なことではありません。「私たちの地域を盛り上げたい。」その想いに共感いただける「笑顔の輪」を広げていくためにも、常に地域の皆さまとともに研鑽してまいります。一人ひとりの「挑戦」を尊重し、応援できる存在を目指して私たちはひたむきに挑み続けます。



飯能信用金庫